

国立大学法人大阪大学の中期目標新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
(前文) 大学の基本的な目標 懐徳堂と適塾の学風を継承し、自由闊達で批判的な精神をもって真理と合理性を追究することにより、大阪大学を知の創造の場として世界第一流の大学とすることを目標とする。 創学以来の「研究第一主義」をモットーとし、第一線の研究成果と実証精神をもって教育を行う。学問と研究を前にしては、優れたものを進んで認め、分野間の障壁をなくし、教員と学生の立場を越えて、対話と討論を重ね、より一層の高みを目指す。 得られた教育研究の成果を世界的基準によって判断し、社会にその価値を問い、利用に供する。大学を社会に開き地域に貢献するとともに、自由と人権を尊重し、<u>国際的学術交流</u>を通じて世界の国々に貢献する。 このようにして、教育・研究・社会貢献を通して国民と社会の信託に応えることにより、大阪大学の「地域に生き世界に伸びる」という理念を実現する。 I 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織 (略) 2 教育研究上の基本組織 教育・研究・社会貢献の理念を着実に実現するために、別表のとおり教育研究上の基本組織として、<u>10</u>の学部、15の研究科及び5の附置研究所を置く。	(前文) 大学の基本的な目標 懐徳堂と適塾の学風を継承し、自由闊達で批判的な精神をもって真理と合理性を追究することにより、大阪大学を知の創造の場として世界第一流の大学とすることを目標とする。 創学以来の「研究第一主義」をモットーとし、第一線の研究成果と実証精神をもって教育を行う。学問と研究を前にしては、優れたものを進んで認め、分野間の障壁をなくし、教員と学生の立場を越えて、対話と討論を重ね、より一層の高みを目指す。<u>グローバル化の進む今日、国際社会の諸問題に多元的に取り組み、有用な人材を養成する。</u> 得られた教育研究の成果を世界的基準によって判断し、社会にその価値を問い、利用に供する。大学を社会に開き地域に貢献するとともに、自由と人権を尊重し、<u>深い国際的な教養に基づいた学術交流</u>を通じて世界の国々に貢献する。 このようにして、教育・研究・社会貢献を通して国民と社会の信託に応えることにより、大阪大学の「地域に生き世界に伸びる」という理念を実現する。 I 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織 (略) 2 教育研究上の基本組織 教育・研究・社会貢献の理念を着実に実現するために、別表のとおり教育研究上の基本組織として、<u>11</u>の学部、15の研究科及び5の附置研究所を置く。	大阪外国語大学との統合に係る改正を行うため。

国立大学法人大阪大学の中期目標新旧対照表

現 行			変 更 案			変更理由
別表（学部、研究科、研究所）			別表（学部、研究科、研究所）			
（学部）	（研究科）	（附置研究所）	（学部）	（研究科）	（附置研究所）	
文学部	文学研究科	微生物病研究所	文学部	文学研究科	微生物病研究所	
人間科学部	人間科学研究科	産業科学研究所	人間科学部	人間科学研究科	産業科学研究所	
法学部	法学研究科	※たんぱく質研究所	<u>外国語学部</u>	法学研究科	※たんぱく質研究所	
経済学部	経済学研究科	社会経済研究所	法学部	経済学研究科	社会経済研究所	
理学部	理学研究科	※接合科学研究所	経済学部	理学研究科	※接合科学研究所	
医学部	医学系研究科	※は、全国共同利 用の機能を有する 附置研究所	理学部	医学系研究科	※は、全国共同利 用の機能を有する 附置研究所	
歯学部	歯学研究科		医学部	歯学研究科		
薬学部	薬学研究科		歯学部	薬学研究科		
工学部	工学研究科		薬学部	工学研究科		
基礎工学部	基礎工学研究科		工学部	基礎工学研究科		
	言語文化研究科		基礎工学部	言語文化研究科		
	国際公共政策研究科			国際公共政策研究科		
	情報科学研究科			情報科学研究科		
	生命機能研究科			生命機能研究科		
	高等司法研究科			高等司法研究科		